

市民の方から寄せられた市政へのご意見や感想などを紹介します。

**意見** 広報紙にたくさん使用されている、二次元コードの使い方を教えてください。

**回答** 二次元コードとは、ホームページなどインターネットの情報を図形化した画像のことで、スマートフォンなどのカメラ機能で読み取ることができます。読

み取りを行うことで、さらに詳しい情報をホームページなどで確認することができます。

※お使いの機種によって、手順の違いや専用アプリのダウンロードが必要な場合があります。

☎秘書課 ☎ 24-1111

二次元コードの読み取り方



広報アンケート

「広報させば 12月号」満足度アンケート

次の①～④のうち、当てはまる番号をお答えください。

- ①大変良い ②良い ③不満 ④大変不満

応募方法

「はがき」か「Eメール」または「応募フォーム」に、①「広報させば」満足度アンケートの該当番号②住所③氏名④年齢⑤電話番号⑥広報紙(特集)へのご意見⑦広報紙(特集以外)や市政に関するご意見を書いて、12月19日(月)までに(消印有効)広報係へ。

※応募は1人1通、応募者の中から抽選で決定します。発表は発送(1月中旬)をもって代えさせていただきます。

10月号のアンケート 161通

12月号プレゼント

3名様

宇久島屋のさざえめし・連子鯛の鯛めしセット



宇久島の海の幸「さざえ」と「連子鯛」を使った「さざえめし」「鯛めし」のセット(レトルト)をプレゼントします。宇久島の海の恵みを手軽に自宅で堪能してみませんか。

☎宇久町観光協会 ☎ 0959-57-3935

宛先

はがき 〒 857-8585 (住所不要) 佐世保市役所秘書課広報係宛  
Eメール hishok@city.sasebo.lg.jp (携帯電話からも可)



左記の画像を読み込むと応募画面が表示されます

明日への活力を与えてくれた3つの大型イベント



新型コロナウイルス感染症が発生して間もなく約3年がたとうとしています。

この間、多くのイベントや行事が自粛、規模縮小、延期、中止を余儀なくされ、開催を楽しみにしていた市民や関係者を落胆させてきました。

しかし、ことしの夏ごろから、感染事例は一定数あるものの、症状が比較的軽症に収まることなどから、社会がウィズコロナの動きに変わってきました。そのような中、佐世保市では、3つの大型イベントが復活・開催しました。

まずは、9月10日・11日に開催された「させばシーサイドフェスティバル」です。佐世保商工会議所青年部を中心とする実行委員会の主催で、初めて佐世保市総合グラウンドを会場として開催され、3年ぶりということもあり多くの観客でにぎわいました。

次に、10月1日・2日には、佐世保青年会議所を中心とする実行委員会の主催で「SASEBO JAM FESTIVAL」が開催されました。新しくなった中央公園で初めて開催された大型イベントで、ステージや機材設置、照明の位置、芝生広場の活用、出店のレイアウトなど多くの苦労があったと思いますが、よく工夫されており、これからの中央公園活用モデルにもなったのではないかと思います。また、子ども向けのプログラムや人気グループの音楽ライブなども用意されていたことから、ファミリー層や若年層に加えて市外からの観客も多く、これまた大盛況でした。

3つ目は、10月21日の前夜祭から、22日・23日の本祭の3日間、「YOSAKOI させば祭り」が市内はもとより、北は北海道から、南は鹿児島ของทีมまで、105チーム約3,500人の踊り子が参加してにぎやかに開催されました。コロナ禍での開催となり、参加チームや踊り子は例年の半数程度でしたが、名切会場を含む8つの会場で大変な盛り上がりを見せ、踊り子や観客が涙を流しながら再開を喜び、楽しんでおられる場面も数多く見られました。

この3つのイベントの開催を通じて感じたことは、約3年、コロナ禍による自粛生活の中で漂う閉塞感を打破したいという気持ちが、主催者だけでなく、市民や観客の皆さんにも強くあったのではないかと思います。コロナ以前、イベントは当たり前のように開催されていましたが、コロナ禍でイベントや行事が無くなったことに、寂しさやつらさ、そして、持って行き場のない気持ちを抱えていた人は少なくないように思います。イベントや行事は、私たちが生活する上で、「癒やし」「うるおい」「やる気」「元気」など明日への活力を与えるものだとして改めて気付かせてくれました。イベントの再開に際し、主催者や関係者の皆さまには、感染症対策など、さまざまな準備に多くのエネルギーと時間を費やされ、また、こんな時にという批判などもあったかと思いますが、それらを乗り越えて見事に成功へと導かれたことに心から敬意を表し、感謝申し上げます。

佐世保市長 朝長 則男

徳育通信 128

聞いて「徳」する話 88 周りへの気配り

新型コロナウイルス感染症の影響で、屋外で行えるレジャーとして魚釣りの人気が高まっていると聞きました。釣りをする者からすると、うれしく思う反面、釣り人によるマナー違反という問題がとてつもなく気になっています。

ある地域で釣りをしていた時の話です。4人家族が来られ、釣りの準備を始める前に、私を含む周りの釣り人に「静かに釣りをしますのでご一緒させていただきます」と丁寧にあいさつをされました。帰る際には、自分たちのごみは残さないようにと子どもたちに教えながら帰り支度をされ、最後にはお礼の声掛けをされました。

最近では、釣り人のマナー違反がよくニュースで取り上げられています。先日、県内のコンビニのごみ箱に釣っ

た魚や釣り糸が捨てられており、店員がごみ分別を行った際にけがをしたといった新聞記事を目にしました。

私が出会った家族のように、周りにも気配りできる、心温かい釣り人が増えることを願うばかりです。

(匿名希望)

「聞いて徳する話」募集中  
身の回りで見つけた“聞いて「徳」する話”を募集中です。応募用紙は事務局で配布しており、市ホームページからもダウンロードできます。

☎佐世保徳育推進会議 ☎ 23-2856